



相談センターだより

第34号 2024. 6. 発行

応援の力

個人的なことになりますが、今年の3月に鹿児島マラソンに参加し、42.195kmという未知の世界に挑戦しました。結果としては、練習不足が大きく（今考えても、なぜあの練習量で走ることができると思っていたのか不思議でたまりません）、約30kmの地点でバスに回収されるという残念な結果となりました。

走る前の私は、完走できてもできなくても、マラソンへの参加は1度きりになるだろうと考えていました。完走できれば満足するだろうし、完走できなくても“完走できなかったけど良い思い出になったなあ”と思うだろう…と何となく想像していました。しかし不思議なことに、走っている途中から、“完走するにはゆっくりでも一定のペースで走ることが大事なのかも…”、“少しずつ走る距離を延ばしてしっかり練習しよう”と考えている自分がいました。回収されたバスの中では足の痛みを耐えながら悔しい気持ちになり、“完走を目標に、来年リベンジしよう！”と次の参加を決めました。

走っている間は苦しい時間帯も多かったのですが、応援の力というものを改めて感じました。大学の先生方は応援グッズを作ったり、差し入れを持って応援に来てくれました。沿道ではたくさんの方が応援してくれましたし、病院の前を通った時には入院中の方が看護師の方と一緒に手を振ってくれました。海沿いでは、電車や桜島フェリーからの応援団の応援もあり、『純心の卒業生です！頑張ってください！』と声を掛けてくださった方もいました。“もう棄権しようかな…”と心が折れそうになったことが何度もあったのですが、応援されると不思議ともう少し頑張ってみようかなと思えました。スポーツ選手が、『ファンの声援の後押しがあった』とインタビューで答えているのをよくニュースなどで見たことがありますが、その気持ちが分かったような気がしました。応援の力を感じられる、貴重な経験になりました。

応援の力を受けて完走できるよう、練習を重ねていきたいと考える日々です。

相談員 笹川裕美

一口メモ

「ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。
いちばんたいせつなことは目に見えない」

『星の王子さま』サン＝テグジュペリ、河野万里子訳、新潮文庫、2006.

紹介者：相談員 中村誠文

◆相談スタッフ◆ 令和6年6月現在

センター長 餅原 尚子 (本学大学院教授)
 相談員 中村 誠文 (本学大学院教授)
 石井 洋平 (本学大学院准教授)
 笹川 裕美 (本学大学院助教)
 客員相談員 久留 一郎 (本学名誉教授)
 藤田千鶴子 (元本学大学院教授)
 山本 英次 (池田病院非常勤医師)
 井上 賢人 (井上メンタルクリニック院長)
 関山 徹 (鹿児島大学教育学部准教授)
 中川 潔 (中川クリニック院長)
 小田奈緒美 (本学大学院非常勤講師)
 保 さら (本学大学院非常勤講師)
 森岡 玲子 (伊敷病院臨床心理士)

研修相談員 久木崎由衣、神園彩華、松尾治子、川野佑、高梨修
 大学院研修生 本学大学院心理臨床学専攻 16名

◆相談の種類と料金について◆

相談の種類	単位	料金
受理面接	1回	2,500円
臨床心理面接	1回	2,000円/人
こども心理面接	1回	1,500円/人
平行面接	1回	2,500円/組
集団心理面接	1回	1,500円/人
コンサルテーション	1回	1,500円/人
心理・発達査定面接	1回	2,000円/人
スーパーヴィジョン	1回	2,500円
予約料(当日のキャンセルの場合)	1回	500円

◆相談の申し込み◆

相談は有料で、全て予約制となっています。まずは、電話にてお申し込みください。
 予約日時につきましては、後日、担当のものが電話にてお返事いたします。

住所 〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地

鹿児島純心大学大学院 サンタマリア館1階 心理臨床相談センター

(※令和5年4月1日より、校名変更、男女共学化)

電話番号 0996-23-5385 (直通)

相談受付 月～金曜日(12時半～17時)

面接時間 月～金曜日(9時～17時)